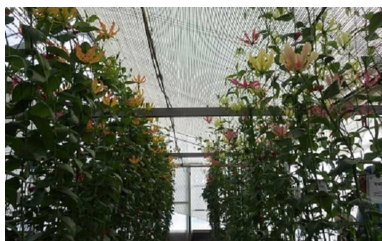


普及活動情勢報告（令和4年5月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

産地に有望な品種は？ ～グロリオサ品種選抜～

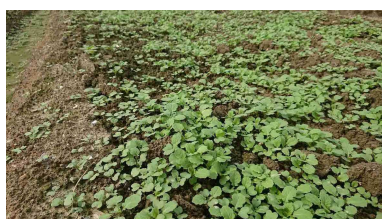


育種されたグロリオサ

4月27日、JA高知市三里園芸部花卉部会員とJA販売担当者合わせて7名が参加し、農業技術センターで育種されたグロリオサの品種選抜を行いました。ほ場で実際に花卉の色や大きさ、草丈を確認しながら選定し、「もっと色味が濃い方が良い」、「これは茎が固くて良さそう」等の声が聞かれました。今回は部会が理想とする品種はありませんでしたが、農業技術センターでは、継続して品種選抜を実施することになっています。

普及所は今後も農業技術センターと連携し、輸出やニーズに応じた品種の育種・選抜を支援します。

持続的なショウガ生産ほ場の確保に向けて ～現地実証ほの設置～



発芽した緑肥の様子

ショウガの根茎腐敗病は、一度発生すると次作での栽培が困難となるため、効果的な土壌消毒の方法を検討しており、今年度は、緑肥（カラシナ）のすき込みおよび土壌還元処理の効果を検証することとしています。

4月26日に生産者、JA高知市、種苗会社および普及所で試験の計画を協議し、5月2日にカラシナを播種しました。5月17日には、ほ場全体に展開葉が見られ、順調に生育しています。生産者からは、「天候の影響や定植作業の都合で播種が遅くなったが、発芽して良かった。根茎腐敗病の再発を抑えたい」との意見がありました。

普及所は、今年度も関係機関と連携し、生産者の課題解決に向け支援をしていきます。

データを見ながら「ナスもハウスも適正管理」を目指して ～ナス部会・現地検討会～



管理方法について
生産者と意見交換

5月20日にJA高知県春野ナス部会の生産者ほ場で現地検討会が開催され、生産者を含む15名が参加しました。

普通ナス・米ナスの4ほ場で、現在の生育状況や今後の管理について意見交換を行い、普及所からは、試験中の単為結果性品種‘PCお竜’の生育・着果特性や仕立て方法について途中経過を説明しました。また、かん水管理・ハウス内環境などのデータに基づいた栽培管理に取り組んでいる事例を紹介しました。生産者からは、データの読み取り方や、機器について質問等が多くなされ、関心の高さが感じられました。

普及所は今後も関係機関と連携し、適正な栽培管理に向け支援をしていきます。

露地野菜の生産安定を目指して ～露地野菜研修会の開催～



話を聞く参加者

5月12日（木）、高知市農協高須支所において、高知市農協東部露地野菜部通常総会の後、青壮年部との合同研修会が開催されました。15名が参加し、普及所からはアブラナ科野菜を侵す主要な病害虫の防除技術について説明しました。参加者からはネコブセンチュウの湛水処理の仕方等について質問がありました。

普及所では、今年度、根こぶ病対策の実証ほを設置することにしており、露地野菜の振興と水田の有効活用を推進していきます。